



～マンドリンのまち前橋～  
朔太郎音楽祭 2021



# マンドリン オーケストラ 演奏会

指揮 青山忠  
(朔太郎音楽祭音楽監督)

2021.10.17 [日]

昌賢学園まえばしホール | ○13:30 開場  
(前橋市民文化会館) 大ホール | ○14:00 開演

入場  
無料

お申し込みは往復はがきに、住所・氏名・電話番号を記入し  
〒371-0022 前橋市千代田町 3-12-10 前橋文学館内朔太郎音楽祭実行委員会事務局へ  
先着 600名。一枚で4名まで。人数分の氏名を明記すること。

## 第Ⅰ部 マンドリンオーケストラ

出演 群馬県立前橋高等学校ギター・マンドリン部、  
群馬県立前橋女子高等学校ギター・マンドリン部、卒業生有志  
群馬マンドリン楽団、前橋マンドリン楽団、ラバースマンドリンクラブ、  
群馬大学マンドリンソサエティ、公募による一般参加者

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況によっては、内容を変更させていただく  
場合があります。

## 第Ⅱ部 ポエムリーディング

萩原朔美が選ぶ朔太郎詩Ⅳ  
出演 | 前橋文学館 館長 萩原朔美 他

## 第Ⅲ部 マンドリンアンサンブル

出演 青山忠マンドリンアンサンブル  
第1マンドリン 青山忠、第2マンドリン 小野朋子、マンドラ 青山涼、  
ギター 谷川英勢

主催 ～マンドリンのまち前橋～ 朔太郎音楽祭実行委員会・前橋市

共催 前橋市教育委員会、(公財)前橋市まちづくり公社

後援 (一社)日本マンドリン連盟、前橋商工会議所、(公財)前橋観光コンベンション協会、朝日新聞社前橋総局、群馬県経済新聞社、産経新聞前橋支局、上毛新聞社、高崎前橋経済新聞、東京新聞前橋支局、毎日新聞前橋支局、読売新聞前橋支局、共同通信社前橋支局、時事通信社前橋支局、NHK前橋放送局、株エフエム群馬、群馬テレビ株、株J:COM群馬、株まえばし CITY エフエム

協賛 アクサ生命保険前橋営業所、株アクティブ、伊香保 おもちゃと人形 自動車博物館、株NSP群馬、株エフエム群馬、大手町くりの木保育園、株小川屋、カネコ種苗株、株クライム、群馬家友協会、ぐんま共済協同組合、株群馬銀行、群馬トヨペット株、群馬日野自動車株、群馬ヤクルト販売株、株群馬旅行、光厳寺、株コシダカホールディングス、小林工業株、街斎藤貨物、株サンワ、GNホールディングス株、清水タクシー(株)、上毛倉庫株、上毛電業株、株ジンスホールディングス、すずはん、株ステージサービス群馬、税理士法人けやき総合事務所、株総合P.R. 損害保険ジャパン株、SOMPOのみわり生命保険株、株旅がらす本橋 清月堂、中央カレッジグループ、街中央電機商会、街中央ビジネス、TM企画、株天国社中央 ホテルサンダーソン、東京冷機工業株、株東和銀行、富沢鉄工株、株登利平、永井運輸株、株永井組、中屋商事株、株西建、日本ピアノホールディング株ピアノプラザ群馬、株ヌクイ、聖酒造株、平方木材株、株ヒロタ、福島産業株、不二建設株、美蓉建設株、株ブレーン、株ホテルルカ、株ホンダカーズ群馬、株マエダスタジオ、前橋高校京浜同窓会、(公財)前橋観光コンベンション協会、(公財)前橋市まちづくり公社、前橋商工会議所、増田煉瓦株、マチダホールディング株、(一社)群馬県建設業協会前橋支部、宮下工業株、山口会計、ユーコム株、横山公認会計士事務所、株吉田鉄工所

～マンドリンのまち前橋～  
**朔太郎音楽祭 2021**  
**マンドリン**  
**オーケストラ**  
**演奏会**



**朔太郎音楽祭**

2006年(平成18年)は前橋市が生んだ詩人、萩原朔太郎の生誕120年でした。朔太郎は自分でもマンドリン用の曲を作曲するなど、マンドリンをこよなく愛していました。そこで、朔太郎とマンドリン音楽の融和を図りマンドリンを前橋市の文化として定着させることなどを目的として「前橋マンドリンフェスタ2006」を開催しました。

2007年(平成19年)以降は、名称を「～マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭」と改め、さらなる「マンドリンのまち前橋」の発展に努めています。音楽祭10周年を迎えた2015年には、マンドリン音楽の第一人者青山忠氏が音楽監督に就任し、高校生の部、一般の部と二つのマンドリンオーケストラを結成して、より高度な演奏を目指しています。

今年も新型コロナウイルスは猛威を振っていますが、感染症拡大予防に万全の対策を講じながら、マンドリン演奏を中心とした音楽祭を通じて前橋の文化芸術に貢献するという使命のもとに、本年の音楽祭を開催してまいります。

**萩原朔太郎**

明治19年(1886年)～昭和17年(1942年)。詩人。父密蔵は前橋の開業医。前橋中学校時代に従兄弟である萩原栄次から短歌の手ほどきを受け文学の道に入りました。卒業後、熊本の第五高等学校、岡山の第六高等学校に進んだが中退。後に詩に転向し、大正6年、第一詩集『月に吠える』によって、日本近代詩に不滅の金字塔を打ち立てました。朔太郎の詩業は、近代的思想を感覚的に書き上げ、わが国における口語自由詩を確立しました。『青猫』『氷島』などの詩集のほか、多くの評論集があります。

**マンドリンと朔太郎**

前橋中学に在学中だった萩原朔太郎は、父から貴重な輸入マンドリンを買い与えられます。前橋中学卒業後、熊本五高などを中退し東京での生活を送りますが、その間、マンドリン指導者・比留間賢らにマンドリン・ギターを習いました。やがて帰郷し音楽と詩作活動を併行して展開、朔太郎は前橋で音楽愛好家を集め「ゴンドラ洋楽会」(のちの「上毛マンドリン倶楽部」=群馬交響楽団設立母体のひとつ)を設立し、再び上京するまでの10年間自ら指揮者として県内各地で熱心に演奏活動を行いました。朔太郎は群馬におけるマンドリン音楽、ひいてはクラシック音楽の先駆者でもあったのです。

音楽監督・指揮 **青山忠** Tadashi Aoyama

2015年より朔太郎音楽祭音楽監督。NHK交響楽団、読売日本交響楽団など日本の主要なオーケストラと多数共演。熊川哲也主宰 Kバレエカンパニー公演「ロミオとジュリエット」に参加。映画では、「クローズド・ノート」「スノープリンス 禁じられた恋のメロディ」「奇跡のリンゴ」「風立ちぬ」などの劇中にてマンドリンやバラライカを演奏。テレビでは、NHKスペシャルドラマ「坂の上の雲2」や、NHK連続テレビ小説「とと姉ちゃん」などの劇中にてマンドリンを演奏。シンガーソングライター山梨鏡平、歌手石野真子のライブやレコーディングに参加。2013年、2019年に久石譲&ワールド・ドリーム・オーケストラのコンサートにゲスト奏者として出演。全日本マンドリン合奏コンクール審査員を務める。マンドリン合奏団の指導や楽譜の出版にも力を注ぐ。これまでに26枚のCDをリリースしており、今年4月にリリースされた「弦色浪漫 (げんしよくるまん) 16巻」も好評発売中。



ポエムリーディング **萩原朔美** Sakumi Hagiwara

1946年11月14日東京生まれ。映像作家、エッセイスト。母は小説家萩原葉子、母方の祖父は萩原朔太郎。寺山修司主宰の演劇実験室・天井桟敷の立ち上げに参加し、1967年4月に旗揚げ公演となる『青森県のせむし男』で初舞台。その後、丸山明宏(三輪明宏)との共演作『毛皮のマリー』での美少年役が大きな話題を集める。俳優活動の後、1968年『新宿のユリシリーズ』にて演出を担当し、以降同劇団の演出家を務めるようになり、代表作に『書を捨てよ町へ出よう』『時代はサーカスの象にのって』などがある。演劇実験室・天井桟敷在団中から映像制作を開始し、退団後も、時間や記憶をテーマにした映像作品を制作。榎本了彦、山崎博、安藤紘平らとともに実験映画作品を精力的に制作、世界各地で上映会が開催される。1973年8月アメリカ国務省の招聘により渡米し、帰国後、アメリカ文化センターでビデオアートの現在についての講演、1975年に株式会社エンジンルームを設立して、代表取締役就任。雑誌『ピクチャーハウス』をパルコ出版より創刊し、初代編集長を務める。パルコ文化、渋谷系サブカルチャーといった文化を生み出し、牽引する。著書に『演劇実験室・天井桟敷の人々』(2000年)『毎日が冒険』(2002年)『死んだら何を書いてもいいわ』(2008年)『劇的な人生こそ真実』(2010年)他多数。多摩美術大学名誉教授。2016年4月より前橋文学館館長。



同時開催

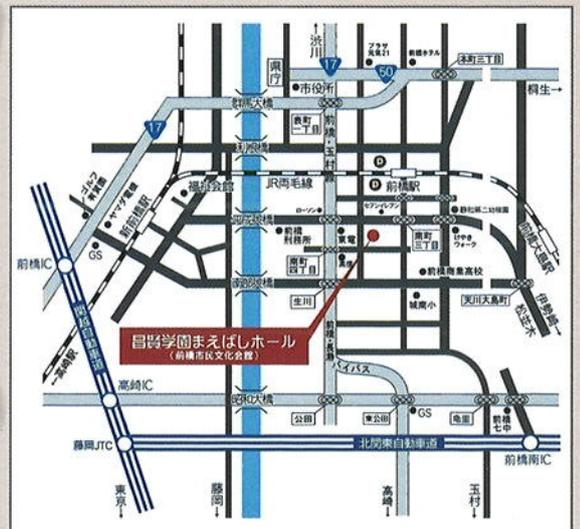
思い出すあの頃の前橋の情景

**「前橋原風景写真展」**

～アマチュアカメラマン井上道夫が切り取った日常～

10月14日[木]～17日[日] 10時～17時

観覧無料 昌賢学園まえばしホール(前橋市民文化会館) 小展示ホール



お問い合わせ ～マンドリンのまち前橋～朔太郎音楽祭実行委員会事務局  
 〒371-0022 前橋市千代田町3-12-10 水と緑と詩のまち前橋文学館内 TEL:027-235-8011